

製品安全データシート

TTA27

作成 : 2017年3月8日
改訂 : 2022年6月10日

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称 1,2:5,6-Diepoxyhexahydro-4,7-methanoindan
会社名 JIANGSU TETRA NEW MATERIAL TECHNOLOGY CO.,LTD.

住所 No.6-2, Zhonggang Road, Taixing Economic Development Zone, Jiangsu China
担当部署 Zip Code: 225400

担当者(作成者)
電話番号 +86-523-87671608
FAX番号 +86-523-87672323
メールアドレス
緊急連絡先番号 +86-523-87671608

販売代理店 サンケミカル株式会社
住所: 東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング
電話番号 03-3661-6681
FAX 03-3661-7055
メールアドレス yano@sun-chemical.co.jp
HP <http://www.sun-chemical.co.jp/>

推奨用途及び使用上の注意
研究化学品

★ 項目2 危険有害性の要約
GHSの分類

物理化学的危険性: 分類出来ない

健康に対する有害性: 急性毒性(経口) 区分3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2

環境に対する有害性: 分類出来ない

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分外	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

● GHSのラベル要素



● 絵表示又はシンボル

● 注意喚起語

危険

● 危険有害性情報

H301 飲み込むと有害
H319 目に深刻な刺激がある

● 注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。

- P240 容器を固定しておくこと。
P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P264 取扱後はよく手を洗うこと。
P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P303+361 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャ
+353+317 ワーで洗うこと。
P301+317 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。すぐに医師の診断を受けるこ
+330+331 と
P304+340 吸い込んだ場合:新鮮な空気のある場所に移動させて、ゆっくり呼吸すること。直ちに医師の
+316 診断を受けること
P305+351 眼に入った場合、数分間水で洗い流す。コンタクトレンズをしており、容易に外せる場合
+338 は外すこと。
P362+364 汚れた衣類を脱いで、再使用の前に洗うこと。
P363 再使用の前に汚れた衣類を洗うこと。
P370+378 火が付いた場合:粉末消火剤、耐アルコール泡、炭酸ガスで消火すること。
P321 特別な措置:中毒センターか医師の診断を受けること
P391 漏出物をかき集めること。
P403+235 換気のよい場所で保管すること。密閉保管すること。
P405 容器を密閉すること。
P501 法律条例に従い廃棄すること。

項目3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

単一品

化学名又は一般名

1,2:5,6-Diepoxihexahydro-4,7-methanoinda
ジシクロペンタジエンモノ又はジオキシド(NITE参照)

別名

脂環式エポキシ

化学特性

CAS番号

81-21-0

成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)

99%

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

4-653

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

▲ 項目4 応急処置

いずれの場合も医師の診断を受けること。

吸引した場合

新鮮な空気のある場所に移動させる。呼吸が止まっている場合、
人工呼吸を施す。医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

十分な水と石けんで洗い流すこと。直ちに医師の診断を受けること。

眼に入った場合

十分な水で15分間水で洗い流し、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

意識不明の患者の口に何も与えないこと。
十分な水で口をゆすぐこと。
医師の診断を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

詳細な徴候及び症状は、項目11－有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護
医師に対する特別な注意事項 利用可能な情報は未だない。

項目5 火災時の措置
消火剤 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス

使ってはならない消火剤

火災時の措置に関する
特有の危険有害性 一酸化炭素、二酸化炭素

消火を行う者の保護 自動呼吸機器を身に着ける。

項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 呼吸器の保護具を着用すること。粉塵の発生を防ぐこと。
蒸気、ミスト、ガスの吸入を防ぐこと。
十分な換気を行うこと。
関係ない人を安全な場所に避難させること。
粉塵の吸引を防ぐこと。

環境に対する注意事項 安全な場合、漏出をくいとめること。排水口に流れないようにすること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 粉塵を発生させないようにし、適切な容器に密閉して保管をすること。

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意

取扱い 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、
技術的対策 保護具を着用する。
(局所排気、全体換気) 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱注意事項 皮膚と眼の接触をさけること。
粉塵とエアゾールの発生をさけること。
取扱場所では適切な換気を行えるようにすること。
防火対策を行うこと。

接触回避 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管 安全な保管条件 涼しい所も保管すること。
密閉容器に保管し、乾燥した換気の良い所で保管すること。

安全な保管保管包装材料 元の容器。

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

設備対策 職場の管理基準の設備区
局所換気/全体換気

許容濃度 日本産業衛生学会(2005 年版) データなし
ACGIH(2005 年) データなし

保護具
呼吸用保護具 手の保護具を使用して取扱い下さい。手の保護具は使用前に調査すること。

適切な除去手段で保護具の汚れを落とすこと。
 (保護具をこすったりしないこと)
 手に本製品が接触しないようにすること。
 使用後に手の保護具を処分する際は、適用法と工場の労働衛生に従うこと。

皮膚及び身体の保護: 化学品に対して適切な保護をする保護具が望ましいです。
 保護具の種類は職場での曝露濃度と危険性に適して選択して下さい。

眼の保護具 安全グラス付きの顔を覆う面状の保護具。
 NIOSH(US)やEN(EU)のような政府基準に試験認証されたものが望ましいです。

呼吸用保護具 リスクアセスメントが空気濾過式の呼吸器の保護具が必要な場合、
 適切な面状の顔の保護具が望ましいです。
 職場の換気設備の補助として、
 N99(US)、Type P2(EN143)呼吸器のカートリッジ式の保護具が望ましい。
 もし呼吸器が唯一の曝露回避手段の場合、自動呼吸機器の保護具を御使用下さい。
 呼吸器とそのパーツがNIOSH(US)かCEN(EU)の試験認証を受けた物が望ましいです。

特別な注意事項 汚れた保護具は直ぐに洗うこと。
 食事前、休憩前には手洗いをすること。

項目9 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色)	個体
臭い	無し
臭いのしきい値	無し
pH	無し
融点・凝固点	185~189°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(相対密度)	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分係数	1,187 log Pow
自然発火温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
その他データ	

● 項目10 安定性及び反応性

反応性	
化学的安定性	データなし
危険有害反応可能性	データなし
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素
その他	

★ 項目11 有害情報

急性毒性	
LD50 経口ラット	210mg/kg
LD50 経ひラビット	8,000mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性
 ラビット 開放刺激試験

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性
 データ無し

呼吸器感作性又は皮膚感作性
データ無し

生殖細胞変異性
データ無し

発がん性
IARCでヒトに発がん性が確認出来る物質は0.1%以上入っておりません。

生殖毒性
データ無し

特定標的臓器毒性、単回曝露
データ無し

特定標的臓器毒性、反復曝露
データ無し

吸引性呼吸器有害性
データ無し

項目12 環境毒性情報

生態毒性
データ無し

残留性・分解性
データ無し

生体蓄積性
データ無し

土壤中の移動性
データ無し

オゾン層への有害性
データ無し

他の有害影響
ドイツではwater hazard class1の扱い。

▲ 項目13 破棄上の注意

残余廃棄物 認定を受けた産業廃棄物業者に廃棄物質を取り扱ってもらうこと。
本物質を可燃性溶剤で溶かす、または混ぜた後、
アフターバーナーとスクラバーを備えた化学焼却炉で焼却すること。

汚染容器及び包装 未使用商品として処理すること。

項目14 輸送上の注意

国際規制

国連番号

2811

品名(国連輸送名)

1,2,5,6-Diepoxyhexahydro-4,7-methanoindan

国連分類

6.1

(輸送における危険有害性クラス)

容器等級 III
海洋汚染物質 非該当
(該当・非該当)

MARPOLによるばら積み輸送される液体物質 非該当
(該当・非該当)

国内規制
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 荷崩れしないようにすること。

応急措置指針番号 非該当

その他

項目15 適用法令

法令の名称を含む関係法令情報

化管法	非該当
安衛法	通知・表示対象 非該当
毒劇法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
消防法	非該当
化審法	第一種、第二種特定化学物質 非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
バーゼル法	非該当
外為法	キャッチオール規制 該当
港則法	非該当

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報

引用文献

オリジナルMSDS
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE
2016年版 16716の化学商品

その他

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実取扱いを対象としたものです。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能なら記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くて良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目

色付けはGHS対応ガイドライン準拠
(2012年6月 日化協)

(但し、ラベルに全て載せる必要はない)